

# 人口減少化におけるまちづくり

平成 23 年 2 月 17 日  
 釧路市総合政策部都市計画課  
 次長 成 田 毅

## 1 都市計画について

### ① 都市計画の目的と役割

【都市計画法第 1 条】

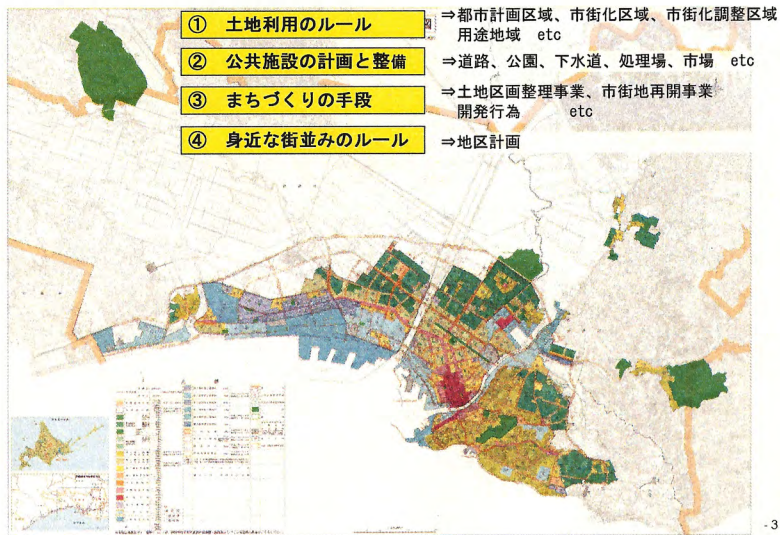
都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって国土の  
 均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与すること。

【都市計画とは、具体的に】

- ・ 前提条件：長期の見通し
- ・ 目的：都市の環境保全、利便・機能性増進
- ・ 結果：全体として調和のとれた市街地形成
- ・ 方 策：都市の将来像、市街地の規模、土地利用の方針等の策定
- ・ 手 法：土地の規制と誘導、都市施設（道路、公園等）の位置、規模を決定し整備、新たな市街地の造成、既存市街地の環境改善

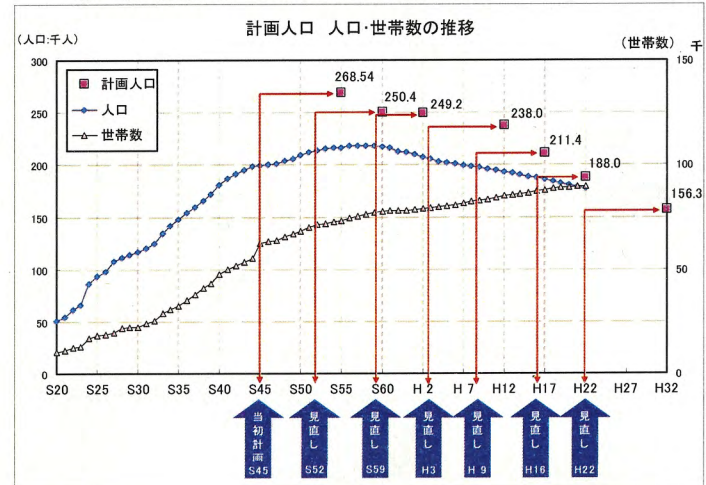
## 1 都市計画について

### ② 都市計画（まちづくり）の柱



## 2 都市計画の変遷

### ① 都市計画における将来計画人口

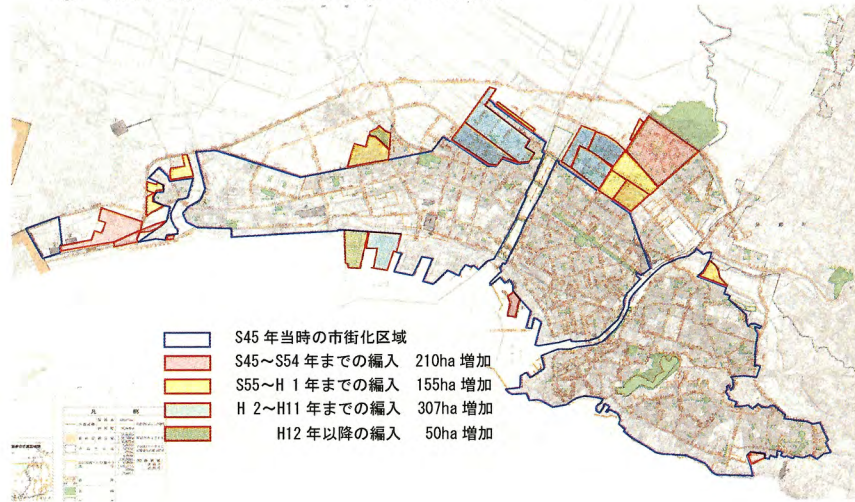


※人口は旧釧路市における住民基本台帳に基づく数値

※計画人口の内、H22 年までの数値は旧釧路市を、H32 年は新釧路市を区域とする数値

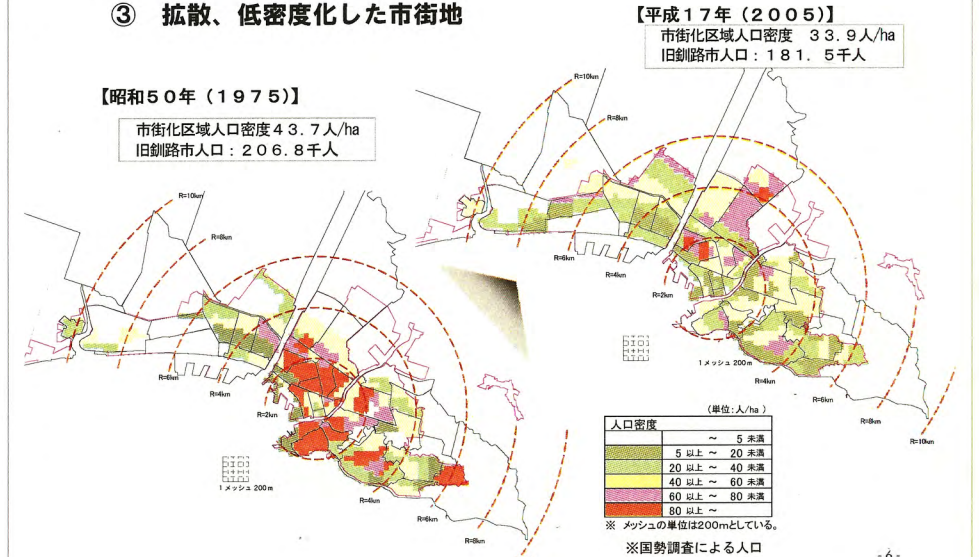
## 2 都市計画の変遷

### ② 市街地拡大の変遷（昭和45年以降）



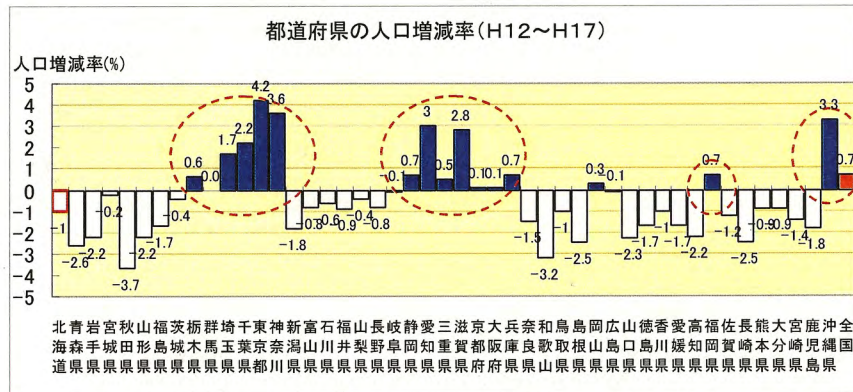
## 2 都市計画の変遷

### ③ 拡散、低密度化した市街地



## 3 人口減少社会

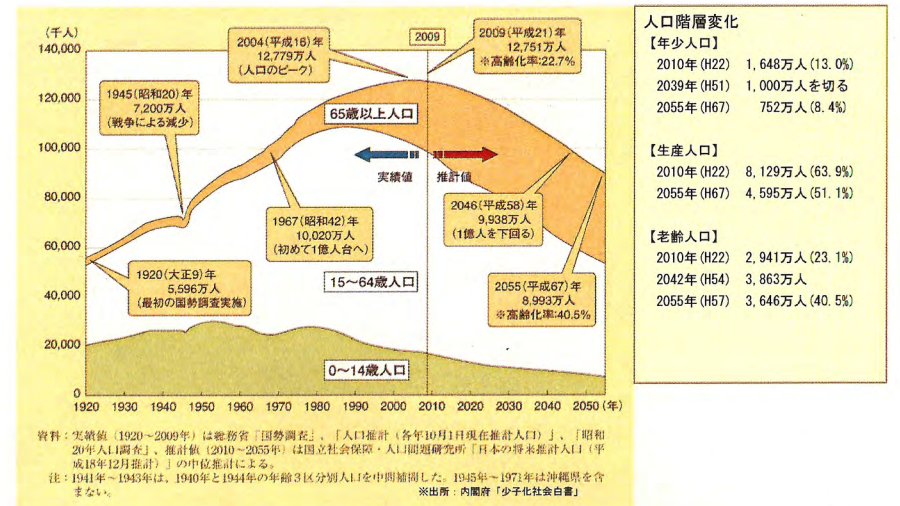
### ① 都道府県別の人口増減変化



※国勢調査による人口

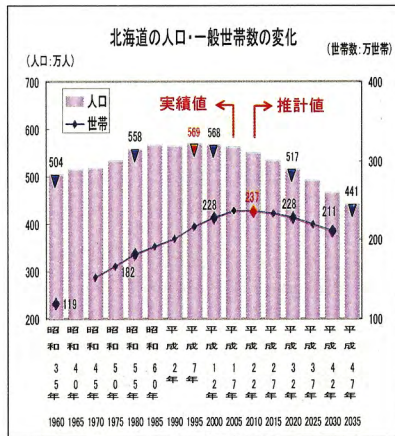
## 3 人口減少社会

### ② 日本の将来人口

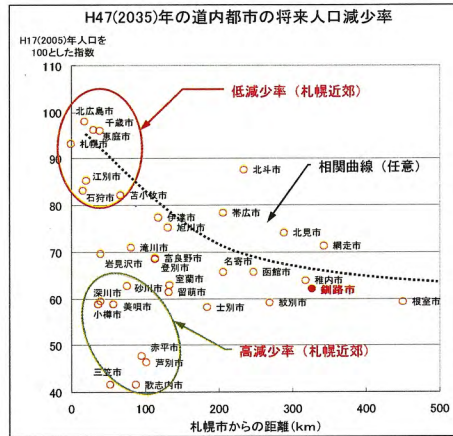


### 3 人口減少社会

#### ③ 北海道の将来推計人口



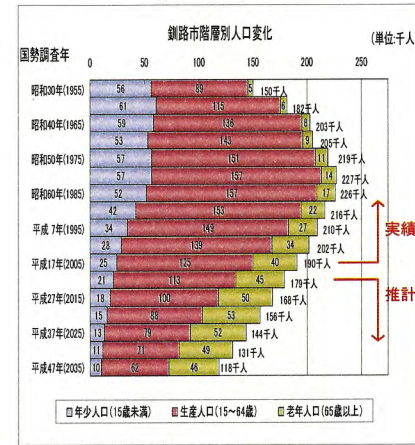
※国勢調査による人口実績と国立社会保障・人口問題研究所の人口推計値による



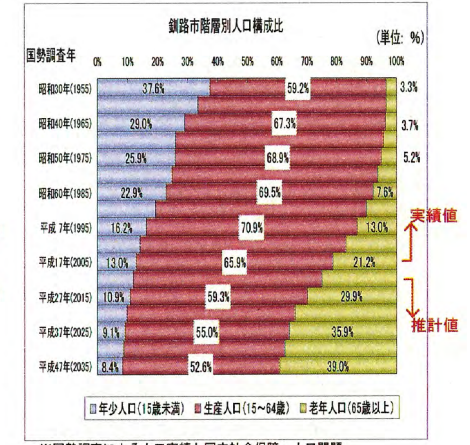
※国勢調査による人口実績と国立社会保障・人口問題研究所の人口推計値による

### 3 人口減少社会

#### ④ 釧路市の将来予測人口



※国勢調査による人口実績と国立社会保障・人口問題研究所の人口推計値による

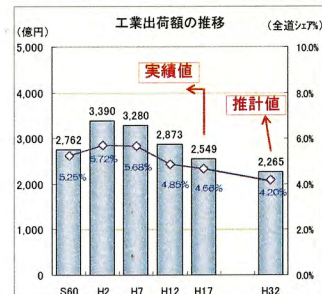


※国勢調査による人口実績と国立社会保障・人口問題研究所の人口推計値による

### 4 人口減少が及ぼす影響

#### 《マイナスの影響》-①

- ① 総体的に消費が落ち込み、経済活動が縮小
- ② 労働力の量的減少、質的低下
- ③ 社会保障費用の負担増
- ④ 少子化による青少年の弱体化
- ⑤ 若者の減少による社会的活力の低下
- ⑥ 地域社会の弱体化



※全道シェア7率を%で表示。実績値は市統計データ。推計値は市の試算による

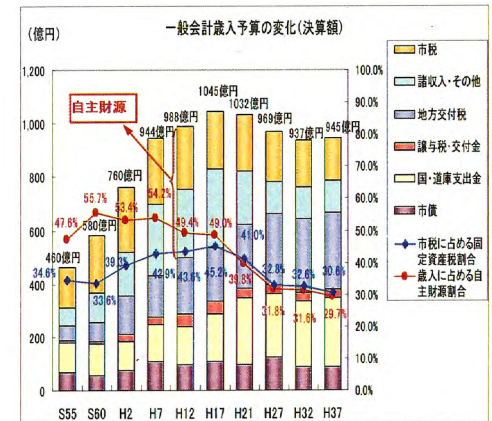


※全道シェア率を%で表示。実績値は市統計データ。推計値は市の試算による

### 4 人口減少が及ぼす影響

#### 《マイナスの影響》-②

- ⑦ 低密度な市街地の形成。都市の利便性、機能が低下
- ⑧ 公共交通の維持が困難
- ⑨ 地域の商店街の維持が困難
- ⑩ 行政の歳入減少
- ⑪ 生活基盤施設である道路、公園、下水道などのライフラインの維持と更新が課題



※S55~H21は決算額。H27~H37は釧路市財政健全化推進プランによる試算値

## 4 人口減少が及ぼす影響

### 《プラスの影響》

- ①食料自給率の向上
- ②土地価格の低下
- ③高齢者や年長者の熟練した技術や考えの導入、高齢者の生産年齢人口ヘシフト、生涯現役の雇用システムの見直し
- ④女性の働く機会の増加
- ⑤ゆとり社会の形成

### 《人口減少はマイナス思考か？》

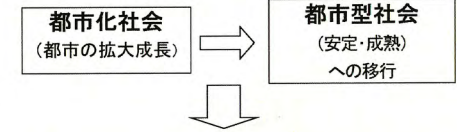
- ・ 高齢化≠老齢化
- ・ 縮小をチャンスと捕らえる思考
- ・ 既存の都市資源を再編
- ・ 再利用することを通じて環境負荷を軽減
- ・ 都市規模を創造的に縮小

## 5 人口減少化における釧路市のまちづくり

### 5-1) 釧路市都市計画マスタープラン策定 (H21年3月策定)

【社会経済情勢の変化と都市政策の課題】

- ① 人口減少、少子高齢化の到来
- ② 地球環境問題の高まり
- ③ 厳しい財政運営と都市経営コスト効率化への要請



まちづくりの基本目標の一つ  
「環境負荷の小さいコンパクトなまちづくり」

この目標を支える基本方針

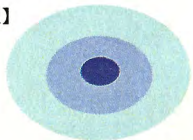
- (1) 良好な都市施設の維持と既存ストックの有効活用
- (2) まちの将来を考えた都市機能の適正な配置
- (3) 地球環境に配慮したまちづくり

## 5 人口減少化における釧路市のまちづくり

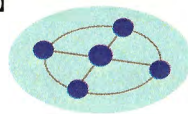
### 5-2) コンパクトシティ(集約型の都市構造)イメージ ①

#### 《集約型の都市構造タイプ》

【同心円型】



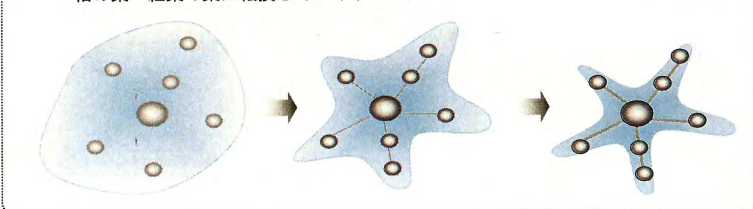
【多芯連携型】



● 集約拠点

#### 釧路市のコンパクトな都市イメージ

柏の葉→紅葉の葉に転換していくイメージ



## 5 人口減少化における釧路市のまちづくり

### 5-2) コンパクトシティ(集約型の都市構造)イメージ ②

#### 【課題】

- ・ 土地には個人の権利が発生。権利を無視する取り組み困難
- ・ 特定の住民への負担の供用は公共政策として受け入れられない
- ・ 地方財政の逼迫から再開発など事業実施の困難性

#### 【目指すべき方向性】

- ・ コンパクトシティ自体を無理矢理に推進するのではなく
- ・ 持続可能な将来都市像を探求→コンパクトシティや集約型の都市構造が一つの解決の方向性
- ・ 市民への動機付け
- ・ 都市の将来構造のイメージを市民と共有化
- ・ 地域拠点に住み替える意識の浸透を優先
- ・ 市民の理解や協力が得られる可能な施策から取り組む

## 5 人口減少化における釧路市のまちづくり

### 5-3) コンパクトシティに向けた視点 ①

- ・縮小都市の政策研究は、黎明期の段階
- ・コンパクトシティの考え方や取り組みは、各都市で異なる
- ・縮小経済化における都市計画の無力さ
- ・個人財産の私権制限の優位性

#### □ 土地利用の視点（ポイント）

- |                         |                                 |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1) 将来都市構造の具体化と共有化       | 7) 居住地の住み替え誘導                   |
| 2) 市街地の縮小に向けた検討         | 8) 宅地の区割り面積の拡大                  |
| 3) 都市の郊外への分散、拡散となる開発の抑制 | 9) 郊外住宅地の新たな形態利用の模索             |
| 4) 準工業地域での特別用途地区等の指定    | 10) 既成市街地に散在する空地の集約化、街区統合による再開発 |
| 5) 用途地域の純化から適度な用途混合     | 11) 未利空地の農、緑としての活用策の検討          |
| 6) 中心市街地の活性化            |                                 |
- ・まちなか居住の促進（借り上げ公営住宅、道営住宅）
  - ・都心で生かせるサービス業の伸展

## 5 人口減少化における釧路市のまちづくり

### 5-3) コンパクトシティに向けた視点 ②

#### □ 都市交通の視点（ポイント）

- 1) 都市規模に合った都市計画道路網の再編（現在取り組み中）
- 2) 交通の整流化、ボトルネック解消
- 3) 道路整備コストと耐久性
- 4) 拠点地域での徒歩、二輪を中心とする移動空間の改善
- 5) 釧路駅周辺部の交通結節機能強化と集客機能施設の誘導
- 6) 公共交通の利便性向上
- 7) 広域連携、広域的な生活圏形成に資する交通ネットワーク整備

#### □ 都市基盤施設の維持、管理の視点（ポイント）

- 1) 道路、公園施設の長寿命化計画による更新と集約型都市構造との連携
- 2) 公園の里親制度の継続
- 3) 公共施設の省エネルギータイプ機器の導入（路面凍結防止装置を融雪材方式、照明機器はナトリウム灯やLEDへの転換）
- 4) 将来人口規模を想定した上水道施設の更新とアセットマネジメントの導入による維持管理費の節減
- 5) 公共施設の複合的利用

## 5 人口減少化における釧路市のまちづくり

### 5-3) コンパクトシティに向けた視点 ③

#### □ 都市機能の多様性や価値や魅力の向上への視点（ポイント）

- 1) 歴史を題材とした資源活用
- 2) 釧路川を利用したイベントの開催、観光ゾーンとしての魅力アップ
- 3) 芸術、文化の視点からの都市再生の検討
- 4) 景観の改善による魅力づくり
- 5) 観光ニーズに対応した地元体制の強化

#### □ 地域の技術力や新たな産業の誘致への視点（ポイント）

- 1) 製造業中心の企業誘致から環境、ソフト、健康産業に着目した産業誘致
- 2) 先進医療都市、観光と医療の結びつき
- 3) 水産、炭礦技術の進展
- 4) グローバリゼーション潮流への対応

## 6 地域の先駆的な取り組み紹介（人口減少、少子高齢化社会を乗り越え）

### (1) 人口減少・少子高齢化社会を支える地域の工夫




※国土交通白書2009抜粋

a) 既存のものを再構築して利用	b) 当地にフィットした新しい仕組み導入	c) 行政だけに頼らない支えあい
<p>【知恵と工夫による渋滞緩和】</p>  <p>□地域名：三重県伊勢市 □取り組み内容：幹線道路の渋滞解消幹線道路を道路の拡幅をせず、中央線をなくし車線化 □効果 ・コストが1/10で達成 ・工事が1ヶ月と短縮 (年末年始やゴールデンウィークなど伊勢神宮への参拝客が極めて増大する時期にはパーク&amp;バスライドの併用実施)</p>	<p>【オンデマンド交通】</p>  <p>□地域名：長野県安曇野市 □取り組み内容：定時定路線運行とオンデマンド運行を組み合わせた乗り合いタクシーによる公共交通の代替機能確保 □効果 ・事前の予約のオンデマンド運行は自宅から目的地までの直接運行。利用者の利便性は高い。 ・一日あたり延べ約 350 人が利用。約 8 割は 60 歳以上の高齢者の利用</p>	<p>【耕作放棄地の新たな担い手】</p>  <p>□地域名：新潟県系魚川市 □取り組み内容：農業の担い手不足による耕作放棄地を建設業が復元・防止 □効果 ・農地の荒廃に一定の歯止め ・中山間地域の棚田などが耕作されることで、地滑り防止など防災面での効果 ・建設業による異分野進出のきっかけ</p>

## 6 地域の先駆的な取り組み紹介(人口減少、少子高齢化社会を乗り越え)

### (2) 困難を乗り越え地域に新たな活力

※国土交通白書2009抜粋

a) 空いているものの活用	b) これまで気づかなかった価値の活用
<p><b>【NPOと協働した空き家バンク】</b></p>  <p>□地域名: 佐賀県武雄市</p> <p>□取り組み内容: NPO 団体と協働して、空き家情報登録制度(空き家バンク)を開始</p> <p>□効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市と NPO の連携による貸し手と借り手のマッチング</li> <li>これまで 10 世帯が空き家バンクを活用し移住</li> </ul>	<p><b>①【地吹雪体験による観光振興】</b></p>  <p>□地域名: 青森県五所川原市</p> <p>□取り組み内容: “厄介者”である地吹雪を逆手に取ったもの。北国の日常を、旅行のテーマの一つでもある非日常体験へと転換させた地吹雪体験観光ツアー</p> <p>□効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>台湾、ハワイなどの南国から体験者が多い</li> <li>地域にとってマイナスのものをプラスに転換</li> </ul> <p><b>②【町家もつ価値への再評価】</b></p>  <p>□地域名: 京都府京都市</p> <p>□取り組み内容: 日本らしい生活の面影を残す住居である町家の活用</p> <p>□効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般住宅における快適性を越えた価値が再認識</li> <li>町家を改築したカフェや旅館が観光客を惹きつけ</li> <li>町家の風情が景観としてまちの魅力や新たな活力源</li> <li>京町家は中古住宅市場で評価</li> </ul>

## 6 地域の先駆的な取り組み紹介(人口減少、少子高齢化社会を乗り越え)

### (3) 新しい成長を築き元気を取得 ①



※国土交通白書2009抜粋

a) 生活にプラスアルファをもたらす大小のアイデア	②【水辺のオープンカフェ】	③【上毛電気鉄道サイクルトレイン】
<p><b>【大地を舞台にした芸術祭】</b></p>  <p>□地域名: 新潟県十日町市、津南町</p> <p>□取り組み内容: 棚田やブナ林が広がる里山の日本の原風景を活用し、3年に1度アートを探しながら里山を巡る「大地の芸術祭」の開催</p> <p>□効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>客の入り込みと経済波及効果</li> <li>恒久作品も展示され通年で集客</li> <li>地域と海外との交流促進</li> </ul>	<p><b>【水辺のオープンカフェ】</b></p>  <p>□地域名: 広島県広島市</p> <p>□取り組み内容: 市の中心部を流れる河川空間を利用した民間オープンカフェ</p> <p>□効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広島市の新たな観光スポットとして定着</li> <li>河川周辺に交流やにぎわいが発生</li> <li>民間事業者が周辺河川敷の清掃等を行い河川美化に貢献</li> </ul>	<p><b>【上毛電気鉄道サイクルトレイン】</b></p>  <p>□地域名: 群馬県前橋市</p> <p>□取り組み内容: 自転車を列車にそのまま持ち込むサイクルトレイン</p> <p>□効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の駅から目的地までの移動手段の利便性向上</li> <li>導入時から徐々に利用者増加</li> <li>有人駅においては無料レンタルサイクルも合わせて実施</li> </ul>

## 6 地域の先駆的な取り組み紹介(人口減少、少子高齢化社会を乗り越え)

### (3) 新しい成長を築き元気を取得 ②

※国土交通白書2009抜粋

b) 新しいまちへの取り組み	c) 魅力や能力を見出して外へ発信
<p><b>【人にやさしい、歩いて暮らせるまちづくり】</b></p>  <p>□地域名: 富山県富山市</p> <p>□取り組み内容: 公共交通を軸とした“拠点集中型”のコンパクトなまちづくりの実現</p> <p>□効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>衰退した既存路線を LRT (次世代路面電車) 化したり、環状線化を図ったりすることで、便利で魅力的なネットワークづくり</li> <li>まちなかにて自転車の貸出しを行うコミュニティサイクルの実施。自動車に依存しないまちづくり</li> </ul>	<p><b>【アニメを利用した観光戦略】</b></p>  <p>□地域名: 神奈川県箱根町</p> <p>□取り組み内容: 有名なアニメ(新世紀エヴァンゲリオン)の舞台になっていることに注目した地域資源の活用</p> <p>□効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな観光資源の開発</li> <li>海外にも発信し、広く世界から人呼び込む効果</li> </ul>

## (国における最近の動向)

### 中心市街地に機能集中

北海道新聞 H23/01/09

#### 政府が新方針 人口減に対応

政府は、街づくりの抑制して都市機能をめた。人口減少時代に基本理念をまとめた「都市再生基本方針」を市街地に再集中し、中心市街地にコンパクト化する方向性を本格的に打ち出すことを決まらせた。効果外開を大幅改定。効果外開を大幅改定。効果外開を大幅改定。

利用を減らし温室効果ガスを排出抑制を図る。1月の中の閣議決定を目指す。現行の基本方針は「高度成長期からの都市の外延化抑制と求心力のあるコンパクトな都市構造」を目標に掲げているが、具体策は示していない。現在検討中の改定案では、都市計画の見直しと郊外の農地、林の宅地開発抑制を示し、市街地開発の拡大や業者への開発許可を厳格に。改定案は街のコンパクト化によって住民が徒歩や自転車での移動が利用が促進される。また郊外の公共施設を市街地に移すことも検討。中心部への移住を支援するため既存の住宅マンションのりフォームに対する補助金を充実、中古住宅の流通を促進し空き家の発生を防ぐこと。また、都市計画の見直しと郊外の農地、林の宅地開発抑制を示し、市街地開発の拡大や業者への開発許可を厳格に。改定案は街のコンパクト化によって住民が徒歩や自転車での移動が利用が促進される。また郊外の公共施設を市街地に移すことも検討。中心部への移住を支援するため既存の住宅マンションのりフォームに対する補助金を充実、中古住宅の流通を促進し空き家の発生を防ぐこと。また、都市計画の見直しと郊外の農地、林の宅地開発抑制を示し、市街地開発の拡大や業者への開発許可を厳格に。

利用を減らし温室効果ガスを排出抑制を図る。1月の中の閣議決定を目指す。現行の基本方針は「高度成長期からの都市の外延化抑制と求心力のあるコンパクトな都市構造」を目標に掲げているが、具体策は示していない。現在検討中の改定案では、都市計画の見直しと郊外の農地、林の宅地開発抑制を示し、市街地開発の拡大や業者への開発許可を厳格に。改定案は街のコンパクト化によって住民が徒歩や自転車での移動が利用が促進される。また郊外の公共施設を市街地に移すことも検討。中心部への移住を支援するため既存の住宅マンションのりフォームに対する補助金を充実、中古住宅の流通を促進し空き家の発生を防ぐこと。また、都市計画の見直しと郊外の農地、林の宅地開発抑制を示し、市街地開発の拡大や業者への開発許可を厳格に。